

PET-CTドック



地方独立行政法人加古川市民病院機構
加古川中央市民病院

PET-CT検査とは

がん細胞は正常細胞に比べて、何倍も多くブドウ糖を取り込む性質があります。これを利用して、ブドウ糖にごく微量の放射性物質を組み込んだ検査薬(FDG)を注射し、全身の写真を撮ることで、がん細胞をうつします検査を(FDG)PET-CT検査といいます。

PET-CT検査は、CTを使った「形や大きさの変化」に加えて、PETの「細胞の活動状態」の情報を融合することで、がんの位置や進行度合、治療後の経過を被検者にもわかりやすい画像として表すことができます。

PET-CT検査では、このように見えます



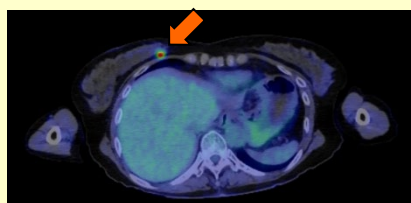
PET全身画像



PET画像



CT画像



PET - CT画像

乳がん(→)に検査薬が集まっています。

脳、扁桃、声帯、肝臓、腎臓、膀胱などに検査薬が集まっているのは、正常です。

PET-CT検査では、PET画像とCT画像を重ね合わせることで、病変の性質や位置・形状が詳しくわかります。

PET-CT検査の特長

一度に全身スキャンをして、病変のひろがりわかる

全身を検査するので、通常では見逃される病変を発見できたり、一度に多くの種類のがんを発見できることがあります。

もし病変を見つけた場合にも、治療方針の決定や治療後の経過観察に有用で、患者さんお一人お一人にあわせた最適な治療選択につながります。

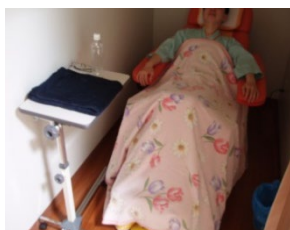
身体への負担が少なく、受検者にやさしい検査

検査薬を静脈注射する際の痛みはありますが、その後は休憩室や検査台で横になるだけなので、痛みや不快感を感じることはありません。

PET-CT検査の様子



検査薬 注射



待機



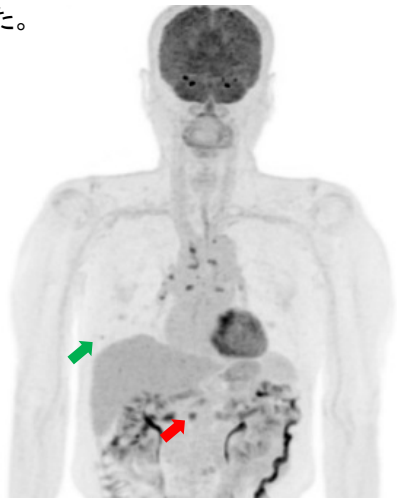
撮影

「当院のPET-CT装置(Biograph Vision 600)」

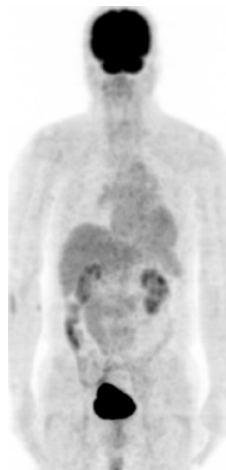
当院のPET-CT検査が優れているポイント

次世代型の最新装置で、より小さな病変をみつけだす

半導体検出器を備えた次世代型のPET-CT装置を関西で初めて導入しました。従来型(光電子増倍管型)と比べて、より小さな病変を描出できるようになりました。



元来、FDGが集まりにくい高血糖値の患者さんでも、小さな病変を描出できた症例



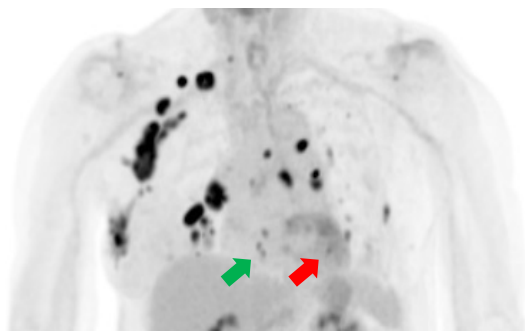
従来型装置での画像



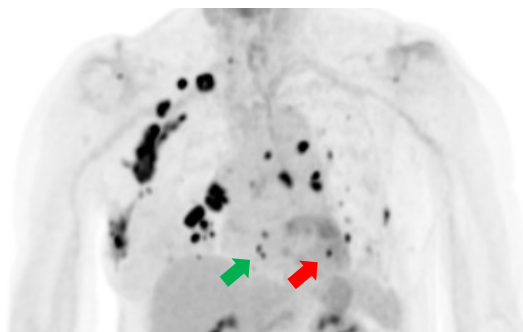
次世代型装置での画像

新しい呼吸同期法によって、短時間で正確な結果が得られる

PET-CT検査は呼吸をしながら写真を撮るので、呼吸の動きの影響を受けてボケたような画像になります。これを解決する方法が呼吸同期法です。従来の呼吸同期法では撮影にかかる時間が2倍になり、実用的ではありませんでした。しかし、当院が採用した新しい呼吸同期法では、撮像時間が延びません。これによって呼吸同期法を実用化し、ボケの少ない画像を得ることで、正確な診断に貢献します。



呼吸同期を使わない画像



呼吸同期を使った画像

数多い実績と、信頼できる検査レポート

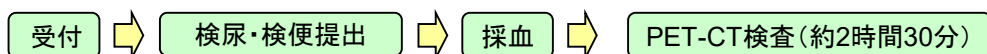
播磨地域において、トップクラスの検査実績数と読影数を経験しております。より信頼性の高い検査報告書をご提供いたします。

検査内容および料金

- PET-CT検査(胸部CTも含む)
- 血液検査(白血球数、赤血球数、血小板数 など)
- 血液生化学検査(肝機能、腎機能、電解質 など)
- 腫瘍マーカー(CEA、AFP、CA19-9、SCC、CA125(女)、PSA(男) など)
- 尿・便検査

基本料金 121,110円(税込)

スケジュール



午前9時30分～午後1時頃で終わります。

結果は後日(およそ2週間後)、結果を郵送させていただきます。

また、希望される方には、面談にて説明いたします(要予約)。

※毎週、火曜日・木曜日の実施となります。

よくある質問

Q. すべてのがんを発見できますか？

- A. PET-CT検査では、ブドウ糖に似た検査薬が体内でどのように分布しているかを見ていますので、ブドウ糖をあまり取り込まないがん、悪性度の低いがん、8mm未満の微小ながんの検出は難しいとされています。

また、検査薬は腎臓を経て尿とともに排泄されるので、腎臓や膀胱などにできたがんは発見しづらいことがあります。

得意ながん	苦手ながん
特徴 大きさが8mm以上あり、ブドウ糖をよく取り込むがん	特徴 大きさが8mm未満で、ブドウ糖をあまり取り込まないがん
例 頭頸部癌、肺癌、乳癌、食道癌、膵癌、子宮癌、悪性リンパ腫、悪性黒色腫、大腸癌 など	例 早期胃癌、腎癌、尿管癌、膀胱癌、肝細胞癌、胆道癌、白血病、前立腺癌、脳腫瘍 など

Q. 食事制限や使ってはいけない薬はありますか？

- A. 前日は、普通食で結構です。当日の午前5時から絶食してください。お茶やお水は飲んでいただいても構いません。ジュースやスポーツ飲料など糖分やカロリーを含むものは不可です。食事や糖分を取ってしまった場合は、検査薬(FDG)が全身の筋肉に取り込まれてしまい病変部に集まらないため、PET-CT検査が延期になります。

また、糖尿病のお薬(インスリン注射や飲み薬)以外は使っていただいても構いません。糖尿病のお薬については、絶食時の使用は危険であり、信頼できる検査結果も得られませんので、当日午前0時から使用しないでください。

Q. 放射線被ばくが気になるのですが。

- A. PET-CT検査による放射線被ばくは約15ミリシーベルトとなります。シーベルトとは放射線が体に与える影響の度合いをあらわします。この線量で障害がおこることはありませんのでご安心ください。

病院へのアクセス



【徒歩の場合】

JR加古川駅より、南西に約950mです。(約12分)
(ニッケパークタウン西側)

【お車の場合】

- ・県道18号線「小門口交差点」より進入し、表示に従って駐車場へお進みください。
- ・加古川左岸線(加古川堤防)側の出入口は「左折進入のみ」となっていますのでご注意ください。(退出も左折のみです。)

【シャトルバス】

JR加古川駅と病院を結ぶ、無料シャトルバスを運行します。
平日の診察時間帯を中心に定期的に運行する予定ですので、ご利用下さい。